

笛吹市石和町を訪問



民生委員児童委員の県外研修が5月に行われ、山梨県笛吹市石和地区の民生委員児童委員協議会を訪問しました。笛吹市は平成16年に5町1村、18年に1村の合併によって誕生し現在人口約7万人で、石和地区では民生委員児童委員は、65人が活躍しています。同地区は昨年東京で開かれた民生委員制度創設100周年記念の全国大会で「一日民生委員」活動（世代間交流による高齢者の見守りをする）を発表し、話題となっています。

研修会では石和地区協議会の竹内稔、東員町協議会の小川隆生両会長が挨拶と活動報告をした後、全員が9グループに分かれて日々の活動や問題点などを話し合いました。しかし、全体に時間が足りなく、突っ込んだ論議ができなくて少し残念でした。

以下に研修者の感想文を掲載します。

印象に残った「無尽」

石和地区民児協会長からの世代間交流による高齢者の見守り「一日民生委員活動」の報告を聞き、子どもと高齢者との交流事業の中、児童や高齢者の生き生きとした楽しい交流が目につきました。私たち神田地区で取り組んでいる絵はがき配布事業と共通する部分があり興味深く聞かせていただきました。

最も印象に残ったのは「無尽」という言葉でした。

元来、金銭的な助け合いの制度ですが、現代では家にこもって、ひとりで過ごすだけでなく外へ出て人と触れ合うことを大事にする場になっているのだそうです。頼母子講と同じ意味だそうですが、未だにそのことが日常的に行われていることに驚きました。(A)

素晴らしい「一日民生委員」活動

今、通学途上で顔を合わせる児童たちにはこちらから声をかけるようにしていますが、昔ほど笑顔で返事してくれる子どもたちが少ないと感じています。それは、人と交わる機会がなくなっているからでしょうか？家に帰っても「おかえり」と言ってくれる父母・おじいさん・おばあさんがいないという状況が多いのでしょうか。

石和地区の「一日民生委員」活動のように高齢者や児童、障がい者、地域の人たちなどをつなぐ役割りを民生委員ができれば素晴らしいです。とりあえず、学校や施設などでまず交流する機会を増やしていくことが大事ではないでしょうか？(K)

気持ちや親切心…

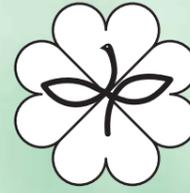
甲府盆地には「無尽」という貧困生活者支援制度のような風習が鎌倉時代から根付いているとの話を聞き、住民の絆と信頼関係が強い地域性を実感しました。笛吹市も住民どうしが互いに助け合う風習があり、約700年も前からある助け合いの精神を実感した研修会となりました。

石和地区では、子どもたちと民生委員が一緒にお年寄りの家庭を訪問する活動を行っています。このことは子どもの時からお年寄りを大切にすることを身につけるとてもよい活動だと思いました。東員町では行っていないので今後の課題としたいものです。(M)

民生児童委員だより

きざな

第16号



絆

2018年7月20日発行
東員町民生委員児童委員協議会
広報委員会
事務局 東員町社会福祉協議会内
TEL 0594-76-1560
<http://www.toinshakyo.or.jp/>



新1年生を見守る

4月17日城山地区の民生委員児童委員が城山小学校新1年生下校の安全を願って、学校から自宅近くまで見守りを行いました。

また、町内各地区でも児童の登下校時見守りボランティアに参加しています。

平成29年度 県ブロック別研修会開催



北勢地区の民生委員児童委員研修会が2月に東員町総合文化センターひばりホールで、東員町をはじめ、桑名市、いなべ市、木曾岬町の民生委員児童委員約300名が参加して開催されました。

この研修会は毎年1回開催され、今回は伊勢市のNPO法人ステップワン副理事長の宮崎吉博氏を講師に迎えて、「共に生きる ～子どもと大人、そして学校と地域のつながり～」について学びました。

子供会の歓送迎会

2月4日城山1丁目子供会の歓送迎会がおこなわれ民生委員も参加しました。新1年生から卒業する6年生までの子ども達やシニアクラブの皆さんとゲームをするなど、2時間ほど童心にかえって楽しみました。

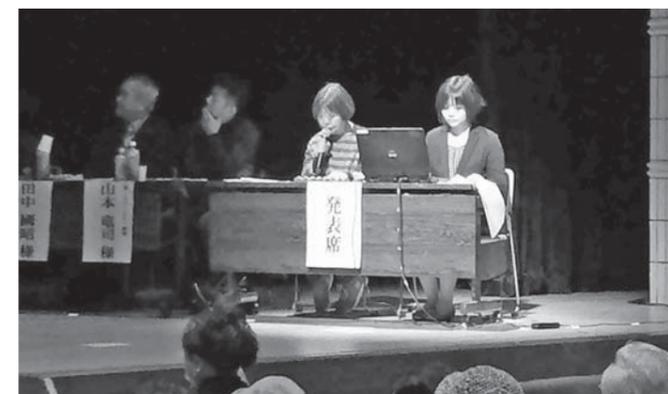


在宅医療シンポで加藤さんが経験談

民生委員児童委員の加藤君子さん(写真右から2人目)が今春、町総合文化センターで開催された在宅医療シンポジウムで、夫を自宅で看取った経験を話しました。

「シンポ」は、いなべ地域での在宅医療について、その経験を報告しあい、多くの人と共に考えようとするもので町長寿福祉課などの主催で行われました。

壇上での加藤さんは「自宅で看取ってあげたいという家族の強い願いで在宅医療を受けながら介護する決意をしました。医師や看護師さんをはじめ周りの人たちや友人の支えもあってなんとか夫を見届けることができました。本人もきっと喜んでいると思います。また、このことで家族の絆が一層深まったような気がします。ありがとうございました」などと涙ながらに報告。マイクを握る加藤さんの姿に会場が一瞬、静まりかえる場面もありました。



パトロール

稲部・三和地区の民生委員児童委員たちが、この春休み期間中に町内の「イオンモール」内をパトロールする取り組みを行いました。この夏休みにも実施します。



「綴り方」勉強会開く



5月8日「第3回綴り方教室」が福祉センター会議室で開かれました。この教室は、民生委員児童委員を対象に正しい日本語の使い方や読みやすい文章の書き方を学ぶもので、講師は長年新聞社勤務の経験がある東員町民児協の嶋野啓二郎副会長が担当しました。

活動強化でPR

民生委員児童委員活動強化週間としての宣伝活動が5月12日に町内のショッピングセンターやスーパーマーケットで行われ、PR用のポケットティッシュを配って私たちの活動内容を知ってもらいました。



花鉢を届けました

民生委員児童委員がひとり暮らしの高齢者を訪問して、バラやカーネーションの花鉢を届けました。

